

教材文の構成を生かし、調べたことを伝えるために書く活動を取り入れた授業の工夫

1 単元 だいじなところに気をつけて読もう「サンゴの海の生きものたち」

2 目標

- 海の生き物の共生関係や、説明文の組み立てに興味をもって読もうとしている。 (関心・意欲・態度)
 教材文や本で読み取った生き物の特徴、秘密などを話したり、聞いたりすることができる。 (話すこと・聞くこと)
 本を読んで生き物の特徴や秘密を集め、生き物をクラスの友達や他学年の友達に紹介する文を書くことができる。 (書くこと)
 サンゴの海の生きものたちが互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読むことができる。 (読むこと)
 片仮名で書く言葉や漢字を正しく使い、文章を書くことができる。 (言語事項)

3 単元について

本単元は、サンゴの海に暮らす生き物たちが関わり合って生きていく共生について書かれた説明文である。イソギンチャクやクマノミなどの生き物が出てくるので、楽しく読み進めることができる。

本文は、最初にサンゴの海でどんな生き物たちがどんなにかかり合いをしているのかについて投げかけている。次に、クマノミとイソギンチャク、ホンソメワケベラと大きな魚のかかり合いを詳しく説明している。最後にはまとめの文章があり、書き出しと結びの関係や、「はじめ・中(具体例が2つ)・まとめ」という文章構成が整っており、説明文の全体構想も意識できるようになっている。説明の順序に注意して大事なところをおさえながら説明文を読み、それをもとに、本や図鑑を読んで知ったことや不思議に思ったことを書いたり、話したり、聞いたりといった言語で表現する活動につなげることのできる単元構成である。

児童は、これまでも取材活動などをもとに文章を書く経験をしてきている。1学期には、「たんぼぼのちえ」で、時間的な順序に気をつけて説明文を読むことを学習してきた。また、生活科の「まち探検」でたずねたことをもとに会話を取り入れて、友達に分かりやすく伝えるための文章を書いたり、季節や生活科との関連を図り「絵手紙」づくりを行ったりしてきた。これらの学習を通して、一つの事柄が書かれた段落のまとまりを意識して読み取ることや、相手や目的を考えながら文章を書く力も身につくところがある。

【児童の実態】 平成20年9月29日調査 2年4組 計29人(調査人数27人)

1 夏休みにどんな本をよく読みましたか。(複数回答)

物語 26人, 図鑑や説明が書いてある本 14人, 本当にあった話・伝記など 7人

2 動物は、いろいろなやり方で自分より強い敵から身を守っています。動物の中には、まわりの色に合わせて体の色を変え、敵に見つかりにくくしているものがあります。アマガエルは、木の葉や草の上などにいるときは、背中が緑色をしています。けれども、落ち葉やかれ草などの上には、茶かっ色に変わります。ライチョウは、高山に住んでいる、ハトぐらいの大きさの鳥です。夏から秋までは、背中や胸や尾は、黒茶色をしています。けれども、雪のつもる冬から春のはじめまでは、体全体がまっ白になります。アマガエルとライチョウの秘密について、分かったことをひとつずつ書きましょう。

4つ以上書ける 12人, 2~3つ書ける 7人, 1つ書ける 4人, 書けない 4人

動物は、どのようにして身を守っていますか。 正答 14人, 誤答 11人, 無答 2人

実態調査の結果、問 2では内容ごとに一文ずつ書ける児童は少なく、多くの児童が「色が変わってすごい」などの感想を書いたり、「茶色です」などの前後の大切な文や語句を省略して書いたり、文を全部写して書いたりしていた。

問 2では、「まわりの色に合わせて体の色をかえる」と正しく答えられた児童は約半数で、アマガエルやライチョウのどちらかの例を答えたものが多かった。

そこで本単元では、まず、本文の2つの具体例において「かかわり合う」というキーワードに着目させ、それぞれの生き物が「どんな体の様子」で「どんなことをする」のか、順序に気をつけながら説明文の読み方を身につけさせていきたい。その際、文末表現や接続語に着目したり、主語・述語に注意したりしながら一つの事柄を一つずつまとめるようにして、大事なことに気をつけて読み取れるようにしたい。さらに、教材文を読み取る学習を生かし、興味をもった生き物について本や図鑑で調べ、「ものしりパンフレット」を作る活動を取り入れる。このとき、文の続き方に注意しながら3つのまとまりを意識して書くことができるように、「はじめ」「中」「まとめ」の文を書く用紙を色分けしたい。パンフレットを友達や1年生に紹介したり、展示したりすることを導入時に伝えることで興味をもたせ、意欲的に説明文を読んだり調べたことを書いてまとめたりする力を養っていきたい。

4 学習活動の計画（12時間取扱い）

第1次 学習の見通しをもち、学習の計画を立てる。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間

時	主な学習活動	評価規準	関	話	書	読	言
第1時	全文を読み、学習のめあてを立てる。新出漢字や読みかえの漢字を練習する。	サンゴの海の生き物たちのかかわり合いに関心をもち、見通しをもって学習のめあてを立てている。（学習計画表） 字形や書き順に気をつけて正しく書いたり読んだりしている。（ノト・観察）					
第2時	範読を聞いたり黙読したりして感想を書き、発表する。	興味をもって範読を聞き、気づいたことを発表しようとしている。（発表・観察） 感じたことや考えたことを入れて、初発の感想を書いている。（ノト・観察）					
第3時	全文を音読し、「はじめ」の文から読み進める観点をおさえる。	「はじめ」の文のキーワードである「かかわり合い」をおさえて読んでいる。（観察） 一まとまりの語や文として、はっきり音読をしている。（音読・観察）					

第2次 登場してくる生き物のかかわり合いを読み取る。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4時間

第4時	イソギンチャクとクマノミの体のつくりや「守り合う」かかわり合いを読み取る。	体のつくりや「守り合う」ことについて、叙述に即して正確に読み取っている。（ワークシート・ノト・発表） 読み取ったことを、大事な言葉を落とさずに書いている。（ワークシート・ノト）					
第5時	ホンソメワケベラの体のつくりや、大きな魚とのかかわり合いを読み取る。	「掃除・食べ物」の逆説の関係が分かり、大きな魚に食べられない理由を読み取っている。（ワークシート・ノト・発表） 読み取ったことを大事な言葉を落とさずに書いている。（ワークシート・ノト）					
第6時	「まとめ」の文と全文を読み、生き物がかかわり合っていることをまとめる。	お互いにどのように役立っているかを考えながらまとめている。（ワークシート） かかわり合いを理解した会話をに入れて動作化をしている。（観察）					
第7時	具体例の中から好きな生き物を選び相手にお礼の手紙を書き発表する。本文を振り返り、説明文の大まかな構成や調べる観点をおさえ、調べ学習の見通しをもつ。	相手にしてもらっていることをはっきりさせて、お礼の手紙を書いている。（ワークシート） 生き物の立場になり、書いた手紙を進んで発表している。（観察）					

第3次 生き物について説明文にまとめ、友達に生き物の秘密を紹介する。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5時間

第8時 ～ 第9時	生き物の本や図鑑を読み、「ものしりパンフレット」を作るための材料を集める。	調べたい生き物について本で調べ、分かったことをカードに書いている。（カード） カードに書く材料を進んで集めている（観察）					
第10時 (本時)	集めた材料（生き物の秘密や感想）をもとに、生き物の秘密を紹介する文を書く。	文と文の続き方を考え、3つのまとまりに分けて原稿を書いている。（ノト・観察） 漢字やかたかなを正しく使い文章を書くことができる。（ノト）					
第11時	「ものしりパンフレット」を完成させる。	伝えたい事柄を、説明文と絵に分かりやすくまとめている。（ワークシート） 見やすく丁寧に文字を書いている。（ワークシート・観察）					
第12時	生き物の秘密について、グループの中で紹介する。	自分が調べた生き物のことを、分かりやすく紹介している。（ワークシート・観察） 友達の発表に興味をもって聞こうとしている。（感想カード・観察）					

5 本時の活動

(1) 目標

自分が調べた生き物の秘密について、友達に知らせるための説明文を書くことができる。

(2) 準備・資料

学習計画表, 生き物の秘密カード, 掲示資料(書き方の例, 秘密カード), ワークシート

(3) 展開

ゴシック体は教科のテーマに迫る手立て

評価

学習活動・内容	教師の支援と評価			
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>生きもののひみつについて, 分かりやすいせつめい文を書こう。</p> </div> <p>2 書き方の例を見て, 分かりやすい文の特徴を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3つのまとめ はじめ(名前の紹介) 中 (生き物の秘密) まとめ(思ったこと) ・ なげかけの言葉 ~を知っていますか。 ~を見たことがありますか。 ・ ていねいな言葉の文末 です。 ます。 なのです。 <p>3 集めた材料をもとに, 説明文を書く。</p> <p>(1) 書き方の例の「はじめ」の部分を読み, なげかけの言葉の後に続く文の書き方を考える。</p> <p>(2) 説明文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はじめ(ピンクの用紙) ・ 中 (水色の用紙) ・ まとめ(黄色の用紙) <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">(ま 黄色) の 文</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">(中 水色) の 文</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">(は ピンク色) の 文</td> </tr> </table> <p>(3) 書き終えたら読み返す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3つのまとめで書けているか。 ・ なげかけの言葉は入っているか。 ・ 文の終わりは, ていねいなことばになっているか。 <p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>(1) 代表者が自分の書いた説明文を読む。</p> <p>(2) 友達の発表を聞いて, 表現のよさや感想を述べる。</p> <p>(3) 自己評価をする。</p> <p>5 次時の学習課題を知る。</p>	(ま 黄色) の 文	(中 水色) の 文	(は ピンク色) の 文	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までの学習を振り返り, 本時の学習課題を確認する。 ・ 「ものしりパンフレット」の完成品を見せ, 意欲的に課題に取り組めるようにしたい。 ・ 同じような生き物を調べた児童同士, 近くに机を並べて学習ができるようにしておく。 ・ 生き物の秘密カードと書き方の例を掲示し, 「サンゴの海の生きものたち」と同じように, 分かりやすい文には3つのまとめがあることを押さえられるようにする。 ・ なげかけの言葉があるときと無いときを比べ, なげかけの言葉があることで, 相手を意識して伝える文章になることに気づけるようにする。 ・ 完成したパンフレットはクラスで紹介し合ったり, 1年生に読んであげたりすることを伝え, 具体的な相手を意識して文を書けるようにする。 ・ 「はじめ」「中」「まとめ」の文を書く用紙を色別に用意する。生き物の秘密をメモしておくカードや本に挟む付箋紙も, 「生き物の秘密」は水色, 「思ったこと」は黄色で色分けしておき, それを「はじめ」「中」「まとめ」に対応させることで, 3つのまとまりを意識して書けるようにする。 ・ 書き出しに戸惑っている児童や, 書き進まない児童には, 例の文と一緒に見て書き方を確認する。補助の文が書かれたワークシートも用意して, カードのどの部分が対応するか一緒に考えるようにする。 3つのまとまりを意識し, 文と文の続き方や文末に気をつけて原稿を書いている。(ワークシート・観察) ・ 早く書き終えた児童は, 観点にそって書けているか, 誤字・脱字はないかを確認するように助言する。また, 別の生き物についても原稿が書けそうな場合は, もう一枚ワークシートを渡す。 漢字や片仮名を正しく使い文章を書いている。(ワークシート) ・ みんなの前で発表する児童は, 「はじめ」「中」「まとめ」が, 適度な長さで分かりやすく書けている児童を選ぶことで, よりよい表現に気づかせたい。 ・ ポイントをおさえてから読み始めさせ, 聞く視点をはっきりさせる。 ・ 感想を発表し合うときに, 3つのまとめがあることや, なげかけの文が入っていることなどについても触れるようにし, 学習した内容を振り返るようにしたい。 ・ 本時の学習活動を振り返り, 学習計画表に記入する。 ・ 次時は, 生き物の絵を描いたり, 足りない文を付け足したりしてパンフレットを完成させることを伝え, 意欲がもてるようにする。
(ま 黄色) の 文	(中 水色) の 文	(は ピンク色) の 文		